

「健康づくりの集い」

盛大に開催される

市民の健康への関心を高めようと毎年開いている「市民健康づくりの集い」が二月二



十二日文化会館で開かれ、約二五〇名が参加しました。参加者は、三生会病院長岩

瀨純男先生による「ぼけを防ぐ生活」と題しての講演・当市の医師会長磯部正波先生のお話等で、健康について再認識していたようです。

ありがとうございました

三月十四日、誕生日の記念にと、境にお住まいの天野利国さんが老人・身体障害者で

去されました。

氏は、昭和四年慶応義塾大学経済学部卒業後、富国生命保険会社に勤務、その後、山梨県立工商学校教諭、山梨県人事委員会委員などを経て、昭和四十四年十二月から、五十二年十二月まで二期八年間に亘り、都留市長を務められました。

この間、都留文科大学の整備充実、都留市文化会館の建設、老人福祉センター設置、農村地域工業導入関連農業生産基盤整備などを推進すると



前都留市長 富山節三氏逝去

前都留市長富山節三氏には三月八日午後十時二十五分逝

歩行が不自由な方々に使っていただきたいと日頃趣味で製作した杖を五十本、福祉事務所に寄贈されました。暖かい善意に感謝申しあげます。

消防記念日に表彰

三月七日県民会館大ホールで行われた第三十六回消防記念日式典において、優良消防職員・団員に昭和五十八年度知事・消防庁長官・日本消防協会長・全国消防協会長等の表彰状が授与されました。

〇知事表彰
谷村第一分団分団長 矢部啓造、禾生分団分団長 鈴木芳

ともに、農村総合整備モデル事業を全国に先がけて取り組み、数々の功績を挙げられました。その功績が認められ、五十三年十月に自治功勞として勲五等瑞宝章、五十四年十月には、山梨県政功績者として受章の榮に輝いております。

このように、都留市発展のために貢献されてまいりましたが、心不全のため八十一歳の生涯を終えられました。

氏のご功勞に対し、心から敬意を表し、ご冥福をお祈りいたします。

男

〇消防庁長官表彰
副団長 佐野勝太郎、谷村第二分団分団長 重森利夫
〇日本消防協会長表彰
副団長 高部利幸、宝分分団分団長 高部甲子郎、谷村第二分団副分団長 小林庸夫
〇全国消防協会長表彰
消防本部消防司令 落合勇夫

文協活動からの報告

都留詩友会

自作の詩をガリ刷りの詩集にする形式で都留詩友会が発足して十年、文協に加盟して七年になります。現在会員は遠藤静江会長を筆頭に、七十三歳の高齢者から主婦、大学



生まで十数名になります。毎週水曜日、遠藤会長宅を会場にして、自作詩の持ち寄り、相互批評、詩の決定、詩人の作品研究、会報製本と意欲的に活動しております。会報は、三五〇部程、市内に無料で配布しています。年間十回程発刊し、いま八十号を制作中です。今年は、十年のアンソロジー（名詩選集）を出したいと計画しております。地域に根差した文化活動をスローガンに「八朔インッる」にはふるさとをテーマにした詩を「成人式」にはお祝いの詩を群読させて頂いております。

また、詩友会の一大行事は、春の詩人の講演会と文化祭の詩の朗読発表会です。講演会は、竹内てるよ、城脩、滝いく子、吉野弘、石垣りん、返田満と中央で活躍中の詩人を招いて行い、秋の朗読発表会も第七回を数え、マンドリンやギター演奏の協賛を得て、会員が自作詩を朗読する舞台が都留市に定着してきているようです。

今年もまた新しい企画で、生活に密着した詩を書いていこうと会員一同張り切っております。大勢の方々に参加して頂き、都留市にこの輪が広がるよう期待しております。